

## レンギョ・ソウギョ釣行会

H21.5 釣技講座（ソウギョ釣り）、H21.9 釣技講座（レンギョ釣り）と釣技の研修会をして以来しばらく時が過ぎましたので、ここで釣り方を忘れないようにと、久しぶりにソウギョとレンギョに対象魚を絞って釣行会を開催いたしました。

5月18日（土）～19日（日）の日程で計画し、エントリーは5名＋見学者（冷やかし）数名とのことで弁当などもだいぶ用意したものの、実際に開始時間に集合したのは、埼玉・平野会員と遠藤の2名というちょっと淋しい釣行会となりました。

常陸利根川・高浜台船下手。8時に開始してから約30分後、平野会員から「キタッ」の一声。コイだかレンギョだかわからないがサオが立たない、グイグイとミチイトが引き出されていく。10分近くやり取りをしてやっとレンギョのモジリが起こった。ほどなく網に入れて検量すると94.5cm。二人ともまずはレンギョの姿を見たことにホッとした。その後、高須会長が陣中見舞いに立ち寄っていただいたものの40～50cmのコイ、アメナマが釣れるばかりで15時、レンギョ昼の部終了。

鰯川で高須会長、加藤会員、山中会員らがサオを出しているというので合流し、大島会員も交えて夕食をたらふくごちそうになった。（ごちそうさまでした）19時から24時までL特急水神テトラ前で宙釣りでサオを振るも来るのはアメナマのみ。仮眠して翌朝5時から7時までマッシュポテトを打ち込むが来るのはやはりアメナマ。この場をあきらめまだ静かな4氏にお礼を言いつつ通過し、下幡木、息栖、草林とポイントを見ながら移動。18日早朝にヨシを束ねて仕掛けておいた霞ヶ浦・妙義に着いた時には12時を過ぎていた。

13時、ソウギョ釣りの開始である。5か所に10本ずつヨシを束ねてセットしておいたが、30時間経過して食っていたのは2か所のみ。この2か所に草バリをセットして待つこと2時間。アタリはなかった。先週はここで110cmのソウギョが釣れたのだがスレてしまったのか？即移動する。

15:45 小野川で草バリを垂らす。やはりここも18日早朝に3か所ヨシ束をセットしておいて2か所は跡形もなくヨシを食っていたポイントである。開始20分後からサオがしなりだした。合わせるがハリ掛りしない。さらにその30分後、そして10分後とアタリがあったがハリにかからない。草バリをよく見てみるとハリの直前数mmのところまでヨシを食うのを止めていたのだ。それも3本とも。ソウギョの勝ちである。17:30完敗のうちに釣り場を後にした。



【これだからやめられないねえ】



【レンギョ 94.5cm 平野会員】



【やったね！（平野会員）】



【お疲れ様。（遠藤副会長）】



【ソウギョ 110.4cm (2日)】

【ハリがわかるのか、ハリの寸  
前で食うのを止めている（19  
日）】

